

# 徳島県の地震

令和3(2021)年3月

## 目次

### ◎徳島県の地震活動

震央分布図・断面図	.....	1
概況	.....	1
徳島県で震度1以上を観測した地震の表	.....	2
震度分布図	.....	2

### ◎地震メモ

徳島県付近で発生する地震の種類について	.....	3
---------------------	-------	---

\*「徳島県の地震」は月1回発行し、徳島県及びその周辺の地震活動状況をお知らせするとともに、適宜、社会的に関心の高い地震について解説を行っています。また、「地震メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。

\*本資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあとと修正されることがあります。

\*本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

\*この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用しています。

\*全国の地震火山活動概況、震源要素、震度データは気象庁ホームページに掲載しています。

<https://www.jma.go.jp/jma/menu/bunyaeq.html>

\*大阪管区気象台管内（近畿、中国、四国地方）の地震活動は、大阪管区気象台ホームページに掲載の「管内地震活動図」、「週間地震概況」をご覧ください。

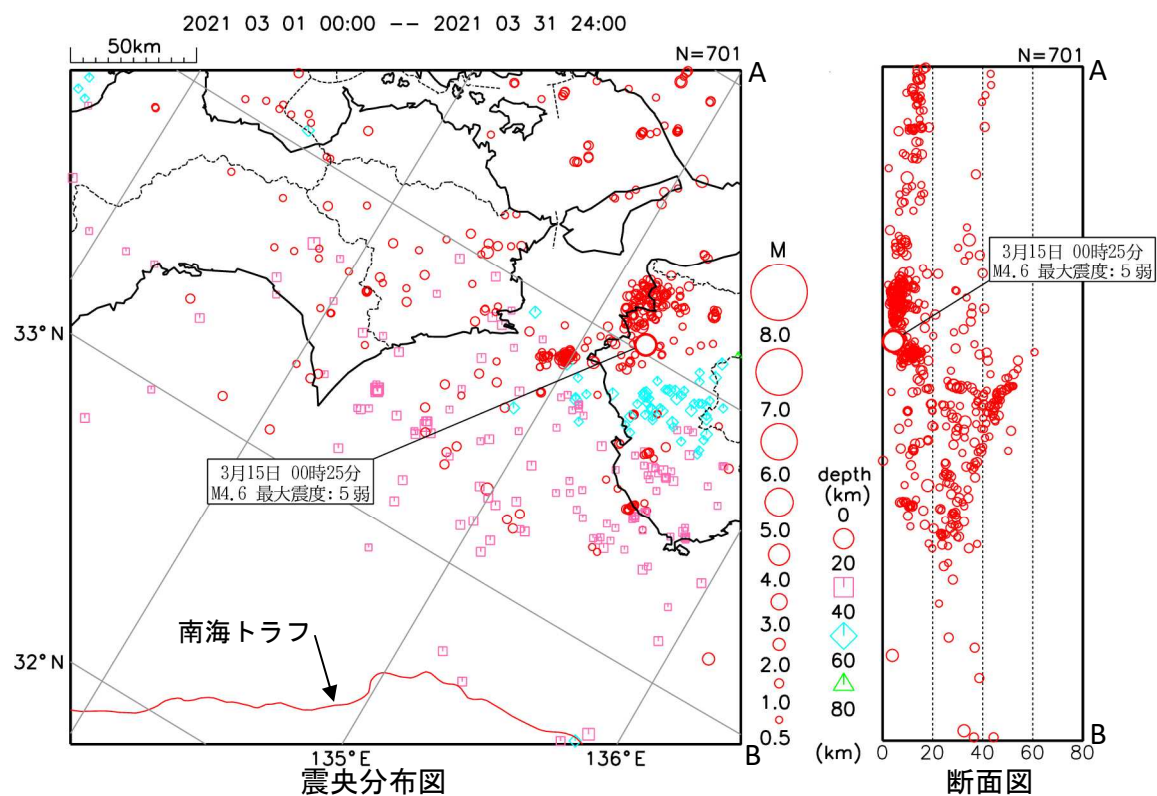
<https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html>

## 徳島地方気象台

(<https://www.jma-net.go.jp/tokushima/>)

# 徳島県の地震活動

震央分布図・断面図 2021年3月1日～2021年3月31日



M0.5以上の地震を表示。

- 図に表示する震源は、凡例のとおりシンボルの大きさと色でマグニチュード (M) の大きさを、シンボルの形状と色で震源の深さ (depth) (震央分布図のみ) を区分。図に表示している地震の回数 (N) は震央分布図と断面図の右上に表示。
- 図中のコメントは、徳島県で震度1以上を観測した地震の発生日時・マグニチュード (M)、最大震度 (徳島県内の最大震度とは限りません)。

## 概況

2021年3月に徳島県で震度1以上を観測した地震は1回でした (前月は5回)。

15日00時25分和歌山県北部の地震 (M4.6、深さ4km) により、徳島市・鳴門市・吉野川市・美馬市・阿南市・石井町・つるぎ町・牟岐町・那賀町・美波町・海陽町で震度1を観測しました。また、和歌山県湯浅町で震度5弱を観測したほか、東海・近畿・中国・四国地方で震度4~1を観測しました。この地震は、地殻内で発生しました。

## 徳島県で震度1以上を観測した地震の表

2021年3月1日～2021年3月31日

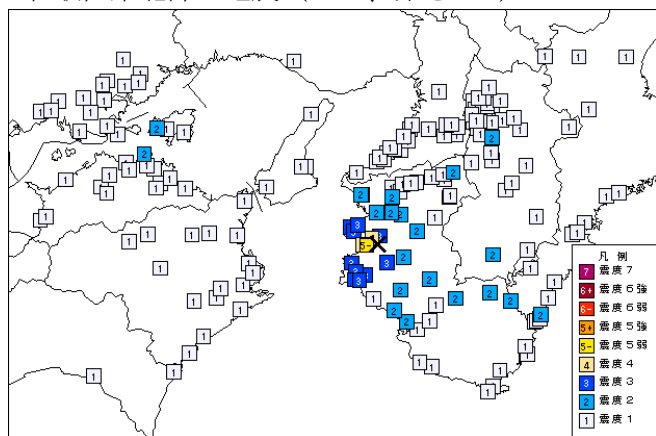
発震日（年月日時分） 各地の震度（徳島県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2021年3月15日00時25分	和歌山県北部	34° 01.7' N	135° 14.8' E	4km	M4.6
震度 1：徳島市大和町, 鳴門市鳴門町*, 石井町高川原*, 吉野川市鴨島町, 美馬市脇町, 美馬市木屋平*, つるぎ町貞光*, 阿南市富岡町, 阿南市山口町*, 阿南市羽ノ浦町*, 牟岐町中村*, 那賀町和食*, 那賀町延野*, 那賀町上那賀*, 美波町西の地*, 海陽町大里*					

- ・ 震源要素（緯度・経度・深さ・マグニチュード）は暫定値。
- ・ 地点名の後に\*がついている地点は、気象庁以外の観測点。

## 震度分布図（×印は震央）

3月15日00時25分

和歌山県北部の地震（M4.6、深さ4km）

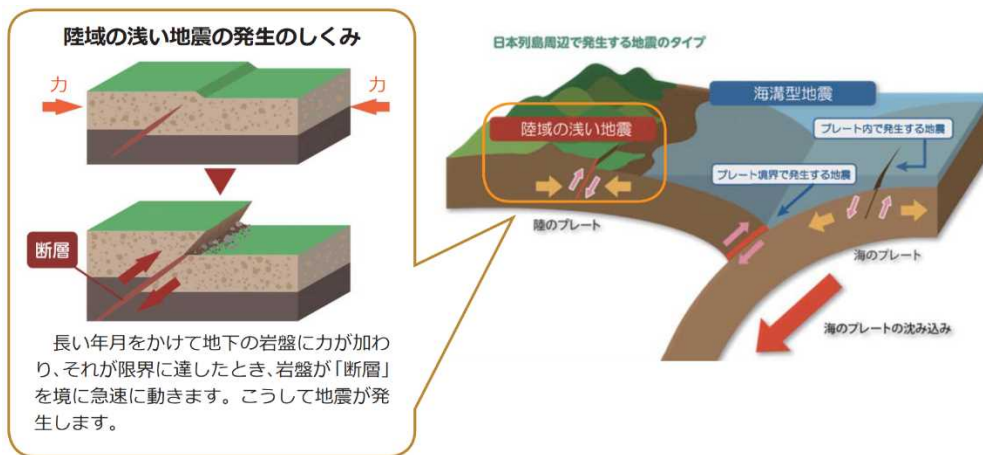


観測点別震度分布図

## 【地震メモ】徳島県付近で発生する地震の種類について

徳島県の南にある南海トラフは、海のプレート（フィリピン海プレート）と陸のプレート（ユーラシアプレート）が接する溝状の海底地形であり、駿河湾から日向灘沖にまで伸びています。そこからは、海のプレートが陸のプレートの下に沈み込んでおり、陸のプレートが常に内陸側に引きずり込まれています。この状態が進行し、蓄えられたひずみがある限界を超えると、海のプレートと陸のプレートとの間で断層運動が生じて、陸側のプレートが急激に跳ね上がり、地震が発生します。これを「プレート境界の地震」といい、南海トラフ地震はこのタイプです。また、海のプレート内部に蓄積されたひずみにより、海のプレートを構成する岩盤中で断層運動が生じて地震が発生することもあります。これを「沈み込むプレート内の地震」といいます。

陸のプレート内にも、プレート運動に伴う間接的な力によってひずみが蓄えられ、そのひずみを解消するために陸域の浅い所(深さ 20km 程度まで)で断層運動が生じて地震が発生します。こうした地震を「陸域の浅い地震」といいます。このタイプの地震は、居住地域に近いところで発生すると規模がそれほど大きくなくても大きな被害になることがあります。こうした地震を直下型地震と呼ぶことがあります。



「陸域の浅い地震」のなかでも、過去に繰り返し地震を起こし、将来も地震を起こすと考えられている「活断層」で発生する地震は、規模の大きな地震を引き起こします。日本には約 2,000 もの活断層があるといわれており、徳島県には活断層のなかでも最大級である中央構造線断層帯が県内を東西に横断しています。

活断層は地震の規模がある程度大きくなければ、地表に断層のずれが現れません。また、断層のずれが地表に現れていた場合でも、その後の浸食や土壌の堆積により痕跡が不明瞭になり、見つかっていない活断層もあるかもしれません。そのため、活断層が確認されていない場所でも、被害をもたらすような地震が起きることがあります。

